
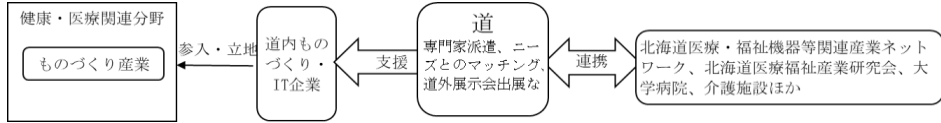


<b>令和3年度 基本評価調書①</b>		所管部局	経済部	所管課	産業振興課	
施策名	健康長寿・医療関連ものづくり産業の振興			施策コード	05111	
政策体系(中項目)	本道の優位性を活かした力強い地域産業の創造			政策体系コード	2(2)A	
知事公約	C0104	総合戦略	A3441 A3752	国土強靱化		事務事業数 3
SDGs				総合判定	順調	

**【1 Plan】**

施策目標	健康・医療分野の産業集積に向け、道内ものづくり・IT企業等の参入や製品開発等の支援に取り組む。					
現状と課題	ものづくりやIT企業の医療・介護・福祉分野への参入は一定程度見られるものの、更なる参入や魅力ある製品の製造や販路拡大等の支援の取り組みが必要。					
主な取組	参入を目指す企業や新たな製品を開発する企業に対する専門家派遣、医療現場の製品ニーズと道内ものづくり・IT企業等とのマッチング等					
予算額(千円)	R3	10,655	R2	10,367	R1	10,071
施策のイメージ						

**＜成果指標の達成状況＞ ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載**

指標名①	増加	億円	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
医薬品・医療機器生産金額(暦年)	目標値		630	650	660	720	112.6%	A
	実績値		615	611	743	—		
設定理由	企業誘致や地場企業の参入支援、機器開発等の成果を計る指標として設定							
分析(主な取組と成果)								
企業誘致や道内ものづくり・IT企業の参入や機器開発支援を実施。医薬品、医療機器生産額ともに、H30年度に比べ大きく増加。令和元年より、厚労省の調査方法が変更になっており、調査の精度が向上したことも増加の要因と考えられる。								

指標名②			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							
設定理由								
分析(主な取組と成果)								

指標名③			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							
設定理由								
分析(主な取組と成果)								

令和3年度 基本評価調書②	施策名	健康長寿・医療関連ものづくり産業の振興	施策コード	05111
---------------	-----	---------------------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
	医薬品・医療機器生産金額(暦年)	615	611	743	660	A
目標(指標)の達成状況	令和元年では、医薬品、医療機器の生産額がH30年に比べ大幅に増加し、目標値を達成した。				指標総合判定	A
連携状況	・北海道医療・福祉機器関連産業ネットワーク等と連携し、医療現場のニーズ発表会を実施。 ・札幌市立大や北海道医療福祉産業研究会と連携し、高齢者の移動支援機器開発の取組を実施。				連携判定	○
緊急性優先性	・展示会出展企業や大学からのヒアリングを実施し、その結果を出展展示会決定時に可能な限り反映。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	引き続き、健康・医療関連産業の振興に向けた取組を推進する。				総合判定(一次評価)	順調

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	個別の参入課題の解決やニーズに応じた製品の開発等に向けた効果的な取組を検討する。
	②	
	③	

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	無し	対応状況(R3.3時点)	
R3年度二次政策評価			

【3 Action】

二次政策評価への対応	
R4施策の方向性	医療や介護の現場でニーズが高まっているデジタル技術を活用した製品等の開発を促進するため、製品ニーズとのマッチングや個別の課題解決に向けたアドバイザー派遣などを行う。